

御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

定例会ニュース

(2021年4月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. 59

1. 道路空間再編事業・沿道協議会の状況報告

御堂筋では、大阪市において、平成 27 (2015) 年度に開始したモデル整備区間 (千日前通以南) の整備を皮切りに、現在、道頓堀橋～千日前通区間にて歩行者空間化の整備が進められています。今年度は、道頓堀橋北詰～長堀通区間における沿道整備協議会が設立し、検討が進められます。それらの状況について、事務局より報告しました。

道路空間再編 整備の進捗状況 [千日前通以南モデル整備区間、道頓堀橋～千日前通区間]

- モデル整備区間 (東側): 景観に配慮しつつも、自転車通行帯がより強調された。古い街路灯は撤去され、5月末～6月頃に新設予定。
- 道頓堀～千日前通区間 (東側): 歩行者空間・自転車通行帯の整備が進められている。街路灯は7月～8月頃に新設予定。



▲モデル整備区間



▲道頓堀橋～千日前通区間



▲道頓堀橋北側

道頓堀橋北詰～長堀通区間整備協議会の設立 第1回協議会の開催 (4/8)

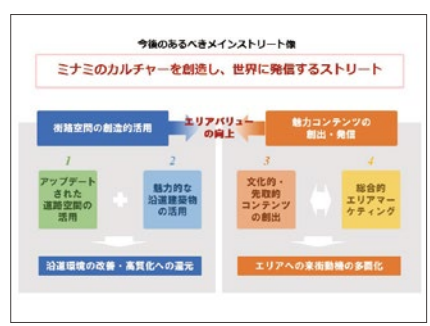
- ・4/8に第1回協議会を開催。体制及び検討テーマ、スケジュール等を確認した。
- ・2022年度に東側工事の開始が予定されている。交通・荷捌きについては、協議事項が多いため月1回程度の部会を設ける予定。
- ・御堂筋だけでなく、周辺の商店街と一丸となって解決すべき課題について協議を進める。

検討テーマ		
交通・荷捌き 荷捌き車等のスペース等検討	自転車の通行・駐輪 不法駐輪等の面的対応の検討など	空間の利活用・質向上 ベンチ等設置物、清掃活動等質向上の取り組みの検討など

2. 部会 / 一般社団法人化 について

ミナミ御堂筋の会 第3回部会 (4/14) での議論概要 【2021→2025を目標とした新たなビジョン骨子】

- 今後あるべきメインストリート像 ～ミナミのカルチャーを創造し、世界に発信するストリート～
大阪万博等の国際イベントを皮切りに国内外から注目される“世界の御堂筋”を目指し、世界水準のメインストリートとなりうる将来ビジョンを設定し、街路空間の整備・活用や魅力発信を行い、エリアバリューの向上を目指す。
- モデル・プロジェクト ～空間活用コーディネート・スキームの構築～
恒常的に道路空間の活用を実施するにあたっての、コンセプトの企画、プレイヤーの人選・マッチング等を行う事業スキーム構築について。
- 2025年に向けたロードマップ
御堂筋の道路空間再編事業、なんば駅前広場が完成していく2025年までの5年間、どのように向きあっていくか。



会の一般社団法人化

- ・定時総会 (6/28 開催予定) での決議を目標に準備を進めている。主な審議のポイントとして以下5つを想定。
- ①活動エリア ②目的・事業 (改めて確認、位置づけ) ③会員の資格と会費 (テナント会員の創設等) ④役員 ⑤組織・ガバナンス体制

意見
 ○一般社団法人化は、事業を拡大し、沿道地権者である会員にメリットを出していくためには必要なことだと思うので、設立に向けてしっかりやっていきたい。部会については、全体で議論されていることを、より具体化することがミッションだと思っている。道頓堀以南の側道歩行者空間化工事が完了した際には、実験だけでなく、レギュラーの事業として会の収益にもつながるようなものを部会でも検討し、本会で提案していきたい。(平川商事・Recoord 真鍋様)

3. 今年度事業について

■御堂筋チャレンジ 2021 (10月頃の1ヶ月程度を予定)
 「歩行者利便増進道路(ほこみち)」の特例区域における沿道の適正化・維持管理活動と、滞在空間の創出や歩車分離を、道路協力団体として実践し、特例区域の望ましい利活用のあり方を検証、将来に渡って継続していく仕組みを構築するための社会実験。

■沿道の利便・魅力増進に向けた検討
 シェアサイクルポートの設置や植栽の常設化、仮囲い壁面を活用した壁面広告の設置を検討。壁面広告では、2020年1月より工事が行われている三津寺様の仮囲いを利用し、施工担当者と協議を重ねていく予定。



日常的な維持管理の他、沿道店舗等のアイランド利用や外部スポンサー等のイベント利用、財源確保を目的とした広告利用を継続的に行う議論を進めている。事業のメリットが出る利活用を提案できるよう、皆様と協力して進めていきたい。(事務局)

4. 話題提供 なんば駅前広場・なにわ筋線

■なんば駅前広場 (2021年秋社会実験予定、2025年全面的な完成目標)
 御堂筋となんば駅前広場は交差するので、広告の運動等によって宣伝効果の増大が見込める。双方で意思疎通を図っていく必要がある。

■なにわ筋線 (2021年準備工事開始、2023年本格工事、2031年開業予定)
 なにわ筋線の登場により、難波ターミナルにおける混雑の分散や、駅周辺の回遊パターンの変化が予想される。回遊性の重心が西にズれることで生じるインパクトの捉え方を協議していく必要がある。



5. その他協議・報告事項

(1) 御堂筋パーク・ストリート推進会議

3/30 開催の第2回事務局会議にて、各団体の昨年度事業、今年度の活動予定について、情報共有が行われました。

(2) コロナ禍における各社の状況について

4/23 の政府の新型コロナ 対策本部会議で、4/25 ~ 5/11 までの期間、東京・大阪・兵庫・京都を対象に3回目の緊急事態宣言発出が決定しました。定例会参加の各社より、近況をご報告いただきました。

<p>■緊急事態宣言発出に関する対応・影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要請に従い、休業・休館や、酒類の提供自粛、カラオケ機の使用禁止、20時までの営業時間短縮等の対応を実施。 ○一部のコンビニでも、酒類の提供自粛を実施している。 ○雑居ビルでも1000㎡以上が休業要請の対象のため、営業に関してテナントと協議が必要になっている。 ○式・イベント等のキャンセルや延期が生じている。 ○GWが軒並みキャンセルになったホテルがある。 ○取引先の休業等の影響で、納品・配送ストップ等の対応に追われている。 <p>※2021.4.26時点の内容です。類似の業種・業態のご発言は、集約・統合して記載しています。</p>	<p>■長引くコロナ禍の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホテル事業の状況は非常に厳しい。アミューズメント事業も厳しい状況になっている。 ○飲食テナントで閉店したところがある。飲食以外のテナントでは目立った退店の動きは見られない。 ○テナントから賃料減額を依頼されている。 ○固定資産税だけでも免除してもらえないと苦しい。 <p>■今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緊急事態宣言の期間延長を視野に、柔軟に対応を準備する。 ○回復とともに地域経済の活性化にまちぐるみで取り組みたい。
---	--

定例会参加者 オンライン開催 (zoom)	【正会員】	三輪・湯川(三菱商事・ユービーエス・リアルティ(株))、高橋・福崎(株)スポーツタカハシ)、池田(有泉屋)、真鍋(平川商事(株))、奥谷(株)三栄建設)、藤丸(光明興業(株))、吉田・山中(株)ベルコ)
	【賛助会員】	武村(コカ・コーラボトラーズジャパン(株))、磯野・杉山(大日本印刷(株))、島田・鈴木(東京建物不動産販売(株))、安田(東京建物(株))、阿部(西尾レントオール(株))
	【オブザーバー】	倉岡(松竹(株))、福地(ミナミまち育てネットワーク)
	【事務局】	中塚・絹原・竹林(株)地域計画建築研究所(アルパック))

次回定例会のお知らせ **2021年5月31日(月) 16:00~** オンライン開催【会議室なし】(議題:法人化検討ほか 予定)